

豊田市議補選
新年2月に!

市中心部の開発 ばかりでなく くらし応援の市議会を

日本共産党豊田市委員会事務局長

本多のぶひろ



本多さんを今度こそ

日本共産党前市会議員 大村義則

前回の市議選では、議席の引き継ぎができず申し訳ありませんでした。今度こそ、本多さんを市議会に押し上げてください。



前回4月の豊田市会議員選挙に挑戦し、たくさんのご支持をいただきましたが、残念ながら当選には至りませんでした。しかし、この間、地道に市民のみなさんの要望をお聴きして地域を回ってきました。お寄せいただいたたくさんの要望をぜひ市議会で実現させたいと今回の市議補選にも挑戦することを決めました。おいでんバスの拡充や公園の遊具新設、若者の正規雇用を増やす等の声を、毎回の市議会でとりあげ、若者も高齢者も暮らしやすい豊田市をめざします。

市議会 → あおり運転デマ投稿で豊田市議が辞任

国会 → 税金使った「桜を見る会」の私物化で安倍内閣の支持率下落

こんな時こそ

ウソのない正直な政治をすすめる人を!

安易なデマ投稿にビックリ
市会議員の在り方が問われている

「あおり運転殴打事件」で、無関係の女性の写真がインターネットで拡散され、ネット社会の持つ問題点だと思っていました。ところが、それに豊田市議が関わっていたと新聞で見て、市民として、とても恥ずかしく思いました。

今、国政から市政まで政治家が平気でウソをつくような姿を見るにつけ、何よりも正直さこそ、政治家の前提条件だと思います。本多のぶひろさんに期待します。

豊田市青木町 本村映一

桜を見る会 首相の「買収」疑惑
野党一体で追及

国政の一大政治問題となった「桜を見る会」疑惑。野党が共同して「追及本部」をつくり、一体で取り組んできました。疑惑は膨れ上がる一方です。首相や自民党が桜を見る会を私物化し、後援会員を「買収」していたのではという疑惑、悪徳マルチ会社ジャパンライフの会長を招待した問題、国会での虚偽答弁、招待者名簿の廃棄…。将棋で言えば「詰み」の状態です。ウソを使って逃げるの許されません。

本多のぶひろさんは、こんな人

- ◆豊田市出身 44歳
- ◆大林小学校・末野原中学校・豊野高校・中京大学経済学部を卒業
- ◆みかわ市民生協、民主青年新聞の記者などの後、日本共産党名古屋市会議員団事務局で勤務
- ◆現在、日本共産党豊田市委員会事務局長。豊田市寿町在住。



趣味はマラソン。毎年、
豊田マラソンに出場

野党の立場で市長をただす市会議員の拡大を!

もっとお年寄りや若者・女性、中小企業に税金を使おう! 市を中心部に更に税金つぎ込む市政の軌道修正を!

市は、今後さらに、中心市街地に莫大な予算をつぎ込む計画をすすめようとしています。



豊田市は、これまで35年間に豊田市駅周辺など市中心部の再開発事業に1000億円を超えるお金をつけ込んでいました。一言で言えば「綺麗になつたけど、にぎわいがない」状況ではないでしょうか。

太田市長のもとで企画されている「都心環境計画」では、さらなる市中心部への莫大な税金の投入が計画されています。

2027年度までに、豊田市駅西口にバスターミナルを移転・集中整備、西口ペデストリアンデッキを再整備、東口の駅前まちなか広場整備、KiTARO前の道路（停車場線）の歩行者専用道路化…。

本多のぶひろは、市中心部の開発事業に偏った税金の使い方を、もっと、お年寄りや若者・女性、中小企業支援に重点を切り替えるように提案します。

本多のぶひろは、税金の使い方を
切り替えるように提案します

免許無でも
安心に

公共バスを増やして、もっと便利にします

おいでんバスと地域バスを合わせた市負担額は8億円余。バス路線もダイヤも、もっと増やせます。また、免許証返納の高齢者が安心して移動できるよう「敬老バス」をつくります。

災害対策で
安心に

豪雨・大地震の備え、避難所の整備をすすめます

気候変動の影響もあり全国各地で多発する豪雨災害、東南海巨大地震の心配。南部地域の液状化対策や山間地域のがけ崩れ対策を早急にすすめ、安全な避難所の確保をめざして整備をすすめます。

教育・子育て
安心に

保育園は公立で充実を。少人数学級増やします

少人数学級の拡大は、太田市長になってからストップして小学校4年から6年までの3学年は未実施のまま。全学年少人数学級実現をめざします。学校給食の無料化、公立保育の拡充で子育て支援をすすめます。

在宅医療も
安心に

医療センターの充実と老健施設の確保をすすめます

特養ホームを増やして入所待機者を解消します。市の南部地域にうすい救急医療体制の充実と、病院に通うバス路線の拡大をすすめます。在宅医療を担う地域医療センターへの市の支援を増やして充実をはかります。

住民の声を聞き、市政に届けるのが市会議員の仕事 本多のぶひろは、地道に地域を回って実現してきました

上原町内の道路 砂利道の改修を市に要望して実現

豊田市上原町内の砂利道で、輪だちの高低差が大きくなつていて昨年9月中旬、車で通つたらタイヤが浮いてしまつて前に進めなくなつたという方から相談が寄せられました。

9月下旬に現場を視察し、市役所の道路維持課に改修の依頼文書を持参しました。10月下旬には、砂利が追加され、輪だちの高低差が、ほぼ無くなりました。近所の方も、道路改修を喜んでおられました。



大清水町内の歩道の雑草、市に要望して草刈を実現

豊田市大清水町内の歩道の雑草が多すぎて歩けない、と市民の方から対応を依頼されていました。昨年8月下旬に市役所の道路維持課へ。草刈りをしていただくことになり、2週間くらいで対応してもらう約束に。9月下旬には草刈が実現しました。



高齢者が道路の溝に落ちケガ…安全防護柵を実現 大林町

2018年6月、県道本地鴨鴨線で高齢者が自転車で転倒し溝に落ちケガをしたのに対し、本多のぶひろは、県豊田事務所へ改善要望書を提出。写真のように安全防護柵が、緊急対応で設置されました。この路線は他の部分も危険箇所が多く、みなさんの声を聞いて、さらに改善要望をしていきます。



くらし、地域の願いが生きる市議会を!
日本共産党 豊田市委員会事務局長 本多のぶひろ